

## 佐野市業務改善計画実施計画 令和6年度新規追加実施計画

事業No.	部局	課・室	係	大項目	中項目
1024	健康医療部	介護保険課	介護認定係	介護認定デジタル化推進事業	介護認定デジタル化推進事業
1025	産業文化スポーツ部	観光推進課	観光推進係	観光施設のあり方検討事業	

**業務改善計画実施計画書**

課・室名	介護保険課	係名	介護認定係		事業No.	1024
※他事業No.						
事務事業名	大項目	介護認定デジタル化推進事業		中項目	介護認定デジタル化推進事業	
現工数/年	正職員	3.70		会計年度任用職員	10.00	
現状と課題	<p>介護認定に係るコロナ延長処理の影響で、更新申請の時期が大きく偏り、全認定者の約57%が令和5年度中に更新時期を迎えることとなった。</p> <p>それに伴い調査・審査件数が大きく増加し、認定までの所要日数が大きく延び、法定期間が30日のところ、令和5年度平均で40.0日を要している状況である。</p> <p>当面、この更新期の偏在は解消せず、3年後の令和8年度には再度多数の更新者が見込まれるところである。</p> <p>また、団塊の世代が後期高齢者となることから、新規申請者の増加も想定され、今後認定・審査の件数は大きく増加し、認定までの所要日数が40日を超え、さらなる長期化が懸念される。</p> <p>これらを踏まえ、認定調査、審査の事務処理能力の強化が急務となっている。</p>					
改善分類	外部委託	外郭団体等との関わり	廃止	組織・事務移管等	左記以外のやり方改善	
					○	
改善策	<p>事務効率化の手段としては業務委託が考えられるが、現実的に指定市町村事務受託法人になり得る法人が市内に存在しない事や、委託は必ずしも認定事務の迅速化に寄与するものでない事から、現状の課題に対し適切な手法でない判断した。</p> <p>それに対し、電算システムの導入により事務処理能力の向上を図ることで、認定事務の迅速化も期待できることから、デジタル化が現状の課題解決に適切な手法と判断し、訪問調査事務、認定審査事務の2つの事務にシステムを導入し、認定までの所要日数の短縮を図る。</p>					

**業務改善計画実施計画書**

課・室名	観光推進課	係名	観光推進係		事業No.	1025
※他事業No.						
事務事業名	大項目	観光施設のあり方検討事業		中項目		
現工数/年	正職員	0.30		会計年度任用職員		
現状と課題	<p>観光推進課所管の体験型宿泊施設は平成初期に建設されたため老朽化が進んでいる。また、すべての宿泊施設がログハウス調のコテージとなっており、類似性が高いことから施設毎の差別化が図れず、利用者を奪い合っていると思われる。</p> <p>そのため、各施設のターゲット層を明確にし、特色のある施設づくりが必要である。</p>					
改善分類	外部委託	外郭団体等との関わり	廃止	組織・事務移管等	左記以外のやり方改善	
					○	
改善策	<p>現状の施設の利用状況を踏まえつつ、今後の根古屋森林公園、蓬山ログビレッジ、あきやま学寮のコンセプトやターゲット層を明確にする。</p>					